



防災体験学習 In 岩手県・宮城県

7月23日（木）～24日（金）に行われた防災宿泊体験学習では、岩手県陸前高田市と宮城県南三陸町で東日本大震災や災害時の対応などについて学びました!!

1 日目は、陸前高田市にある高田松原津波復興祈念公園に行きました。ガイド職員の方に、いわて TSUNAMI メモリアルなどの震災伝承施設や奇跡の一本松について説明していただきました。震災前は海辺に約7万本もの松があり、それが津波によって1本しか残らなかったこと、そして実際に津波の被害にあった建物を見て、地震や津波の恐ろしさを感じました。また、メモリアル館内の津波について歴史的に学ぶことができる展示や、東日本大震災で被災した写真・映像から震災当時の様子を学びました。

その後は、南三陸町の旧防災庁舎を見学しました。津波によって変形した建物と当時の説明書きを真剣に見ていました。子どもたちはさらに津波被害の凄まじさと恐ろしさを目の当たりにして、感じるものがあったようです。



2 日目は、洋上めぐりで牡蠣や海鞘（ホヤ）の養殖している様子を見せていただいたり、カモメのエサやりをしたりしました。リアス式海岸について、近年の養殖状況などを説明していただきました。檜葉町も同じ太平洋に面していますが、異なる特徴があることが分かりました。

最後に、仙台うみの杜水族館に行きました。大水槽やイルカショーを見て楽しみました。イルカショーでは、カップを着て最前列で構えていましたが、見事にビショビショになりました。素敵な思い出ができました。

～子どもたちの感想～

- 震災は本当にひさんなことで、たくさんの命がうばわれて、生まれていないけどこれからはぼくたちに今できることやこの震災を未来に伝えるためにどんなことができるのか考えたい。
- 自分の命より人の命をゆうせんする人がいたことがわかった。「自分より人をゆうせん」することをえらんだ人はこわかったと思う。
- 一番大切なのは命ということを学んだので、これからも自分の命をしっかり守っていきたいです。

檜葉町×会津美里町 絆伝承・交流宿泊体験

8月3日（月）・4日（火）に会津美里町との交流事業が行われ、両町あわせて38名の児童が参加し、檜葉町で交流活動を行いました。そして今回も、（学生団体）福島大学災害ボランティアセンターの皆さんにご協力いただき、共に親睦を深めました♪



1日目

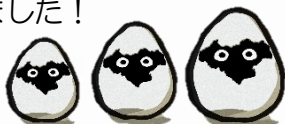
今年は、会津美里町と姉妹都市となって20周年ということで、高木センター長による震災講話を実施しました。東日本大震災前と後の檜葉町の様子や、避難先の会津美里町の皆さんが温かく迎え入れてくれたことなど映像を交えながらお話しいただきました。

午後は木戸川漁業協同組合の皆さんのご協力のもと、木戸川でガサガサ網漁を行いました。気温が低い日でしたが、子どもたちは川遊びを楽しんでいました。活動後には、木戸川で捕れたアユの塩焼きをご馳走していただきました。身が甘くとっても美味しかったです。

夕飯は、天神岬スポーツ公園で野外炊飯を行いました。災害ボランティアセンターの皆さんのご指導のもと、3色丼とおおさ汁を班で分担して作りました。皆で作ったご飯はとても美味しく、綺麗に平らげました！



2日目



2日目は岩沢海水浴場で海水浴の予定でしたが、残念ながら波が高く遊泳ができなかったため、砂浜でリレーやすいか割りをして楽しみました。お昼は、檜葉町の地域の皆さんが作ってくださった防災食（カレーライス）を食べました。

この二日間を通して、子どもたちは深い絆で結ばれたと思います。別れの時には、「また冬、美里町で会おうね！」「絶対冬の泊まりに来てね！」と言葉を交わしていました。そして、バスが見えなくなるまで、手を振り続けていました。とても素敵な夏休みの思い出となりました。



【お問合せ先】 檜葉町地域学校協働センター（檜葉小学校 1 階） 高木・渡部
TEL：（直通）070 - 7421 - 5156 （生涯まなび課）0240 - 25 - 2492
MAIL：kyoudou-n@town.naraha.lg.jp